

# 学術年会プログラム

9月4日(月)

9:00～9:05 開会の挨拶

第24回日本免疫毒性学会学術年会 年会長

中村 和市

第72回日本産業衛生学会アレルギー・免疫毒性研究会 代表世話人 吉田 貴彦

9:05～9:50 基調講演(VTR)

座長 中村 和市(北里大学)

KL-01 Immunotoxicology: A Historical Perspective

○Jack H. Dean

Department of Pharmacology & Toxicology, College of Pharmacy at the University of Arizona, USA

9:50～10:35 一般演題1 <O-01～O-03>

座長 小池 英子(国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター)

山浦 克典(慶應義塾大学 薬学部)

O-01 エストロゲンが気道アレルギー性炎症に及ぼす影響について

○田食 里沙子、牧野 絵美、渡部 優子、福山 朋季

一般財団法人残留農薬研究所

O-02 エストロゲンレセプターがアレルギー性皮膚炎モデルの炎症反応誘導に關与する可能性

牧野 絵美、田食 里沙子、渡部 優子、○福山 朋季

一般財団法人 残留農薬研究所

O-03 ブスルファン処置後の精巣免疫毒性と精子形成障害における牛車腎気丸の治療効果

○曲 寧<sup>1</sup>、伊藤 正裕<sup>2</sup>、寺山 隼人<sup>1</sup>、永堀 健太<sup>2</sup>、倉升 三幸<sup>2</sup>、小川 夕輝<sup>2</sup>、坂部 貢<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東海大学医学部基礎医学系生体構造機能学、<sup>2</sup>東京医科大学人体構造学分野

10:35～11:05 学生・若手セッション<SY-01～SY-03>

座長 吉岡 靖雄(大阪大学微生物病研究所)

SY-01 Isocyanatesにおける各種代替法の組み合わせによる皮膚感作性評価と  
Local Lymph Node Assay の比較

○大竹 利幸、前田 洋祐、林 多恵、山中 秀徳、中井 誠、武吉 正博

(一財)化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所

**SY-02 HLA 遺伝子導入マウス由来細胞を用いた皮膚特異的な薬物毒性発症メカニズムの解析**

○藤森 惣大、青木 重樹、薄田 健史、伊藤 晃成  
千葉大学大学院 薬学研究院 生物薬剤学研究室

**SY-03 HLA 遺伝子導入マウスを用いたアバカビルによる特異体質性肝障害の再現**

○宋 彬彬、青木 重樹、薄田 健史、伊藤 晃成  
千葉大学大学院 薬学研究院 生物薬剤学研究室

**11:10 ~ 11:55 ポスターセッション< P-01 ~ P-22 >**

(\* 印は学生・若手優秀発表賞に応募)

**\*P-01 Isocyanates における各種代替法の組み合わせによる皮膚感作性評価と  
Local Lymph Node Assay の比較**

○大竹 利幸、前田 洋祐、林 多恵、山中 秀徳、中井 誠、武吉 正博  
(一財) 化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所

**\*P-02 HLA 遺伝子導入マウス由来細胞を用いた皮膚特異的な薬物毒性発症メカニズムの解析**

○藤森 惣大、青木 重樹、薄田 健史、伊藤 晃成  
千葉大学大学院 薬学研究院 生物薬剤学研究室

**\*P-03 HLA 遺伝子導入マウスを用いたアバカビルによる特異体質性肝障害の再現**

○宋 彬彬、青木 重樹、薄田 健史、伊藤 晃成  
千葉大学大学院 薬学研究院 生物薬剤学研究室

**P-04 アセタミプリドの長期曝露によるマウス精巣の男性ホルモンの変化**

○寺山 隼人<sup>1</sup>、曲 寧<sup>1</sup>、遠藤 整<sup>2</sup>、立道 昌幸<sup>2</sup>、坂部 貢<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東海大学医学部 基礎医学系生体構造機能学、<sup>2</sup>東海大学医学部 基盤診療学系衛生学公衆衛生学

**P-05 ビスフェノール A の混餌経口曝露がアレルギー性喘息マウスモデルの肺炎症に  
及ぼす影響**

○柳澤 利枝<sup>1</sup>、小池 英子<sup>1</sup>、Tin Tin Win Shwe<sup>1</sup>、高野 裕久<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター、<sup>2</sup>京都大学大学院 工学研究科

**P-06 ビスフェノール A の混餌経口曝露がアレルギー性喘息マウスモデルのリンパ組織に  
及ぼす影響**

○小池 英子<sup>1</sup>、柳澤 利枝<sup>1</sup>、Tin Tin Win Shwe<sup>1</sup>、高野 裕久<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター、<sup>2</sup>京都大学大学院 工学研究科

- P-07** ビスフェノール A の混餌経口曝露がアレルギー性喘息マウスモデルの神経免疫系に及ぼす影響  
○ Tin Tin Win Shwe<sup>1</sup>、柳澤 利枝<sup>1</sup>、小池 英子<sup>1</sup>、高野 裕久<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター、<sup>2</sup> 京都大学大学院 工学研究科
- P-08** PM2.5 により誘導される酸化ストレスによる免疫反応の抑制  
○吉田 安宏、何 翠穎、森田 健太郎  
産業医科大学免疫学・寄生虫学
- P-09** アスベスト曝露により誘導されるストレス応答の研究  
○松崎 秀紀<sup>1</sup>、李 順姫<sup>1</sup>、前田 恵<sup>2</sup>、武井 直子<sup>1</sup>、吉留 敬<sup>1</sup>、西村 泰光<sup>1</sup>、大槻 剛巳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 川崎医科大学衛生学、<sup>2</sup> 岡山大学大学院自然科学研究科バイオサイエンス専攻生物機能化学講座
- P-10** アスベスト継続曝露 T 細胞における酸化的リン酸化関連複合体の発現変化と ROS 制御  
山本 祥子、○李 順姫、松崎 秀紀、幡山 圭代、武井 直子、吉留 敬、西村 泰光、大槻 剛巳  
川崎医科大学衛生学
- P-11** 日本人の重症眼障害を伴う感冒薬誘発性スティーヴンス・ジョンソン症候群／中毒性表皮壊死症に関連する遺伝子多型の解析  
岡本（内田）好海<sup>1</sup>、中村 亮介<sup>1</sup>、松永 佳世子<sup>2</sup>、相原 道子<sup>3</sup>、○斎藤 嘉朗<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部、<sup>2</sup> 藤田保健衛生大学 医学部アレルギー疾患対策医療学、<sup>3</sup> 横浜市立大学大学院医学研究科 環境免疫病態皮膚科学
- P-12** 免疫の関与する特異体質薬物毒性評価モデルにおけるキメラ型 HLA 遺伝子導入マウスの有用性  
○青木 重樹、薄田 健史、藤森 惣大、宋 彬彬、伊藤 晃成  
千葉大学大学院 薬学研究院 生物薬剤学研究室
- P-13** 薬剤性肝障害時の核内受容体 PXR の抗炎症作用における NF- $\kappa$ B の役割  
岡村 麻絢、阿部 太紀、鶴田 聡志、志津 怜太、保坂 卓臣、佐々木 崇光、○吉成 浩一  
静岡県立大学薬学部 衛生分子毒性学分野
- P-14** メトトレキサート (MTX) およびリバビリンで誘導される細胞質ロッド・リング構造の電子顕微鏡による観察および比較  
○中島 民治<sup>1</sup>、田中 晋<sup>1</sup>、佐藤 実<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 産業医科大学産業保健学部人間情報科学、<sup>2</sup> 成人看護学

- P-15** イミキモド誘発乾癬モデルマウスにおける搔破行動解析および搔痒誘発関連因子の探索  
○大石 信雄<sup>1</sup>、岩田 紘樹<sup>1</sup>、小林 典子<sup>1</sup>、藤本 和子<sup>1</sup>、佐藤 洋美<sup>2</sup>、樋坂 章博<sup>2</sup>、山浦 克典<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 社会薬学部門、  
<sup>2</sup>千葉大学大学院薬学研究院 臨床薬理学研究室
- P-16** ヒトマクロファージ様 THP-1 細胞の遺伝子発現に及ぼす DEHP 及び MEHP の曝露影響  
○小島 弘幸<sup>1</sup>、武内 伸治<sup>1</sup>、室本 竜太<sup>2</sup>、岸 玲子<sup>3</sup>、荒木 敦子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>北海道立衛生研究所、<sup>2</sup>北海道大学大学院薬学研究院、<sup>3</sup>北海道大学環境健康科学研究教育センター
- P-17** ヒト急性単球性白血病細胞株 (THP-1) より分化誘導した樹状細胞様細胞の抗原提示におけるナノ酸化チタン共存の影響について  
○酒井 信夫、田原 麻衣子、曾我 慶介、安達 玲子、近藤 一成、五十嵐 良明  
国立医薬品食品衛生研究所
- P-18** 微細粒子吸入による肺内三次リンパ節形成における樹状細胞および濾胞ヘルパー T 細胞の役割  
○黒田 悦史<sup>1,2</sup>、石井 健<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター、  
<sup>2</sup>大阪大学免疫学フロンティア研究センター ワクチン学研究室
- P-19** ワクチン接種時の初期免疫反応を捉えるヒト化マウスモデルの作出ならびにワクチン安全性評価法への応用とその評価  
○佐々木 永太、百瀬 暖佳、平館 裕希、古畑 啓子、水上 拓郎、浜口 功  
国立感染症研究所 血液・安全性研究部
- P-20** 抗 EPO 抗体国際標準パネルを用いたバイオレイヤー干渉法の抗薬物抗体分析能の評価  
○柴田 寛子<sup>1</sup>、西村 和子<sup>1</sup>、宮間 ちづる<sup>1</sup>、多田 稔<sup>1</sup>、鈴木 琢雄<sup>1</sup>、斎藤 嘉朗<sup>2</sup>、石井 明子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部、<sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部
- P-21** 血漿の試料調製条件が免疫系タンパク質の測定値に及ぼす影響について  
○中村 亮介<sup>1</sup>、荒川 憲昭<sup>1</sup>、前川 京子<sup>1,2</sup>、斎藤 嘉朗<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所、<sup>2</sup>同志社女子大学
- P-22** カニクイザル末梢血リンパ球のイムノフェノタイピングに用いる溶血試薬と血液量の検討  
○境 愛子、朝日 隆行、杉本 崇至  
株式会社新日本科学 安全性研究所

12:05 ~ 12:55 ランチョンセミナー 1 (日本チャールス・リバー株式会社)

**LS-01 Unraveling Immunotoxicological Assays for Agrochemical and Pharmaceutical Industries**

○ Vanessa L. Peachee, MS, PhD

Director, Immunotoxicology, Charles River Laboratories Ashland, LLC

13:05 ~ 13:50 日本免疫毒性学会総会 (兼 評議員会)

**13:55 ~ 14:45 表彰式・受賞講演**

座長 手島 玲子 (医薬品医療機器総合機構 再生医療製品等審査部・一般薬等審査部)  
野原 恵子 (国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター)

**学会賞受賞講演 (13:55 ~ 14:20)**

**AL-01 揮発性有機化合物に関する免疫毒性研究**

○藤巻 秀和

国立環境研究所

**奨励賞受賞講演 (14:20 ~ 14:45)**

**AL-02 慢性掻痒性皮膚疾患に関わる皮膚免疫の免疫毒性学的解析**

○山浦 克典

慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 社会薬学部門

14:50 ~ 16:50 シンポジウム「生殖免疫毒性—妊娠の成立・維持のための免疫機構とその破綻—」

座長 寺山 隼人 (東海大学医学部基礎医学系生体構造機能学領域)  
下村 和裕 (北里第一三共ワクチン株式会社 ワクチン研究所)

**S-01 ウシの妊娠における免疫機能の変化**

○前田 洋佑

北里大学獣医学部 大動物臨床学研究室

**S-02 胎盤における免疫学的寛容機構**

○亀谷 美恵

東海大学 医学部 基礎医学系 分子生命科学領域

**S-03 制御性 T 細胞からみた妊娠維持機構**

○鳥 友子、中島 彰俊、齋藤 滋

富山大学医学薬学研究部 (医学) 産科婦人科

**S-04 ナノ粒子による妊娠機能異常の機序：自然炎症インフラマソーム機構の関与の可能性**

○白砂 孔明<sup>1</sup>、谷川 奈央<sup>1</sup>、尾関 綾衣<sup>1</sup>、大口 昭英<sup>2</sup>、高橋 将文<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京農業大学農学部、<sup>2</sup>自治医科大学

**17:00 ~ 17:50 特別講演 1**

座長 齋藤 嘉朗（国立医薬品食品衛生研究所）

**SL-01 特異体質性薬物性肝障害の免疫学的機序**

○横井 毅

名古屋大学大学院医学系研究科 統合医薬学領域 トキシコゲノミクス研究室

**18:30 ~ 20:30 懇親会（サン・ロイヤルとわだ）**

学生・若手優秀発表賞 授賞式



## 9月5日(火)

### 8:40～9:40 一般演題2 < O-04～O-07 >

座長 森本 泰夫 (産業医科大学 産業生態科学研究所)  
姫野 誠一郎 (徳島文理大学薬学部)

#### O-04 びまん性胸膜肥厚患者と悪性中皮腫患者の免疫学的差異

○西村 泰光<sup>1</sup>、李 順姫<sup>1</sup>、武井 直子<sup>1</sup>、松崎 秀紀<sup>1</sup>、吉留 敬<sup>1</sup>、岡本 賢三<sup>2</sup>、岸本 卓巳<sup>3</sup>、大槻 剛巳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>川崎医科大学衛生学、<sup>2</sup>北海道中央労災病院、<sup>3</sup>岡山労災病院

#### O-05 長期石棉曝露によるヒト CD8+T 細胞の機能変化

○武井 直子、西村 泰光、松崎 秀紀、李 順姫、吉留 敬、大槻 剛巳  
川崎医科大学 衛生学

#### O-06 亜鉛欠乏における Th2 リンパ球を介した炎症応答の機序解明

○木戸 尊将<sup>1</sup>、石渡 賢治<sup>2</sup>、与五沢 真吾<sup>1</sup>、吉岡 亘<sup>1</sup>、須賀 万智<sup>1</sup>、柳澤 裕之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座、<sup>2</sup>熱帯医学講座

#### O-07 樹状細胞機能修飾を介した有機スズ化合物の免疫抑制作用

○中西 剛<sup>1</sup>、井戸 章子<sup>1</sup>、廣森 洋平<sup>1,2</sup>、永瀬 久光<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岐阜薬科大学衛生学研究室、<sup>2</sup>鈴鹿医療科学大学薬学部

### 9:40～10:40 一般演題3 < O-08～O-11 >

座長 小島 弘幸 (北海道立衛生研究所)  
平野 靖史郎 (国立環境研究所)

#### O-08 グルタミン酸シグナルによる骨髄由来免疫抑制細胞の機能制御

○立花 雅史<sup>1,2,3</sup>、森川 直祐<sup>2</sup>、吾郷 由希夫<sup>4</sup>、合田 寛<sup>2</sup>、櫻井 文教<sup>2</sup>、水口 裕之<sup>2,3,5</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院薬学研究科 薬剤学分野、<sup>2</sup>分子生物学分野、<sup>4</sup>神経薬理学分野、  
<sup>3</sup>大阪大学国際医工情報センター、  
<sup>5</sup>国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 肝細胞分化誘導プロジェクト

#### O-09 マウスマクロファージにおける IL-1 $\beta$ の分泌機構の差異

○平野 靖史郎<sup>1</sup>、古山 昭子<sup>1</sup>、菅野 さな枝<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>国立環境研究所 環境リスク・健康 C、<sup>2</sup>名古屋市立大学 医学研究科・法医学

#### O-10 JAK ファミリーキナーゼ阻害が角化細胞の IL-17 応答に及ぼす影響

○室本 竜太、多和 佳佑、大垣内 優衣、松田 正  
北海道大学大学院薬学研究院 衛生化学研究室

**O-11 アラート構造に着目した皮膚感作性定量的構造活性相関 (QSAR) モデル**

○佐藤 一博<sup>1</sup>、志呂威 朴繕<sup>2</sup>、日下 幸則<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 福井大学 医学部 環境保健学、<sup>2</sup> 富士通九州システムズ

**10:40 ~ 11:30 教育講演「ウイルス感染が誘導する自己免疫疾患」**

座長 黒田 悦史 (医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター)

**EL-01 ウイルス感染が誘導する自己免疫疾患**

○南谷 武春、安居 輝人

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 感染症制御プロジェクト

**11:40 ~ 12:30 ランチョンセミナー 2 (株式会社新日本科学)**

**LS-02 (株) 新日本科学における再生医療等製品の評価法**

○内山 朝子、和泉 博之

株式会社新日本科学 前臨床研究推進本部 iPS 細胞治療プロジェクト支援室

**12:40 ~ 13:30 特別講演 2**

座長 石井 明子 (国立医薬品食品衛生研究所)

**SL-02 Immunotoxicity Assessment of Biopharmaceuticals**

○Danuta Herzyk, PhD

Merck Research Laboratories, Merck & Co, USA

**13:30 ~ 15:30 試験法ワークショップ「バイオ医薬品 (タンパク製剤) の安全性評価法の最新動向」**

座長 間 哲生 (第一三共株式会社 安全性研究所)

久田 茂 (あすか製薬株式会社 創薬研究本部)

**WS-01 バイオ医薬品の安全性評価法の概要と留意点**

○石井 明子<sup>1</sup>、斎藤 嘉朗<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部、<sup>2</sup> 国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部

**WS-02 バイオ医薬品の非臨床安全性評価の考え方**

○真木 一茂

(独) 医薬品医療機器総合機構 毒性領域



**WS-03** バイオ医薬品非臨床評価において特徴的な試験法  
－ヒト細胞を用いた評価法－

○久保 千代美、井上 智彰  
中外製薬株式会社 研究本部

**WS-04** 抗体-薬物複合体の非臨床安全性評価

○間 哲生  
第一三共株式会社 安全性研究所

**15:30 ~ 15:40** 年会賞授賞式、閉会式